

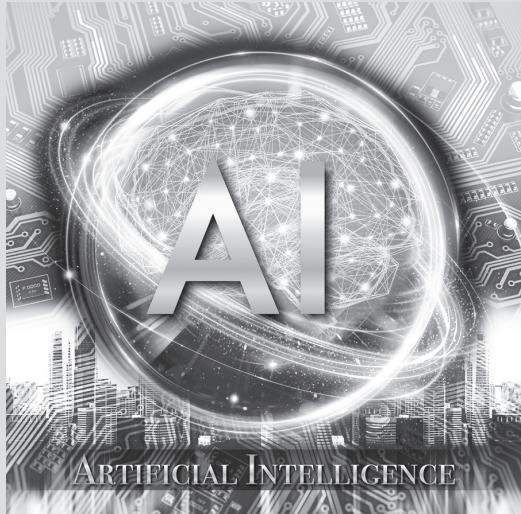
グローバルA I ファンド

追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：グローバルA I

2024年9月26日から2025年9月25日まで

第9期 決算日：2025年9月25日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、実質的に世界の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

当期の状況

基 準 価 額 (期末)	51,644円
純資産総額 (期末)	482,563百万円
騰 落 率 (当期)	+25.6%
分配金合計 (当期)	500円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

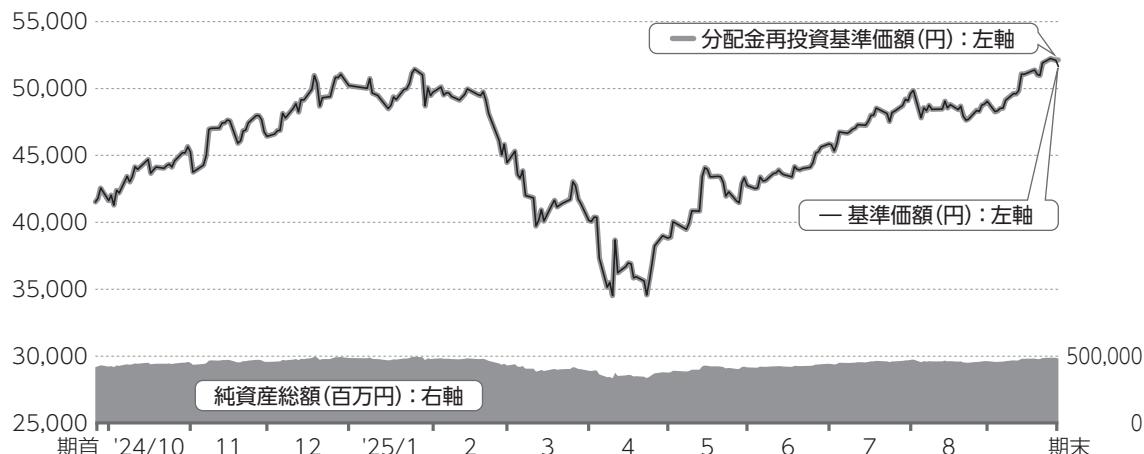
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2024年9月26日から2025年9月25日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期 首	41,519円
期 末	51,644円 (既払分配金500円(税引前))
騰 落 率	+25.6% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2024年9月26日から2025年9月25日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、世界の上場株式の中からA I (人工知能)の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行いました。

なお、実質組入外貨建資産については対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- F R B (米連邦準備制度理事会)が11月、12月、2025年9月のF O M C (米連邦公開市場委員会)で利下げを行ったこと
- 米トランプ政権による各種規制緩和などの政策に対する期待が高まったこと
- 旺盛なA I インフラ投資計画の発表や進捗が継続的に見られたこと
- 総じて市場予想を上回る企業決算が発表されたこと
- 米国がE U (欧州連合)や日本を含む複数の国・地域と貿易協定に合意したこと

下落要因

- DeepSeekが注目され、A Iへの投資水準に及ぼす影響の不確実性が高まったこと
- トランプ米大統領が4月2日を「解放の日」と名付け、大幅な関税を発表したこと
- 米国と各国の関税交渉の進展に関して不透明感が見られたこと

1万口当たりの費用明細(2024年9月26日から2025年9月25日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	878円	1.925%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は45,620円です。 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファン ドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図 の実行等の対価
(投信会社)	(452)	(0.990)	
(販売会社)	(401)	(0.880)	
(受託会社)	(25)	(0.055)	
(b) 売買委託手数料	26	0.058	売買委託手数料=期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(株式)	(26)	(0.058)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	3	0.006	有価証券取引税=期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する 税金
(株式)	(3)	(0.006)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	6	0.014	その他費用=期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管お よび資金の送回金・資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
(保管費用)	(5)	(0.011)	
(監査費用)	(1)	(0.001)	
(その他)	(1)	(0.001)	
合計	914	2.003	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

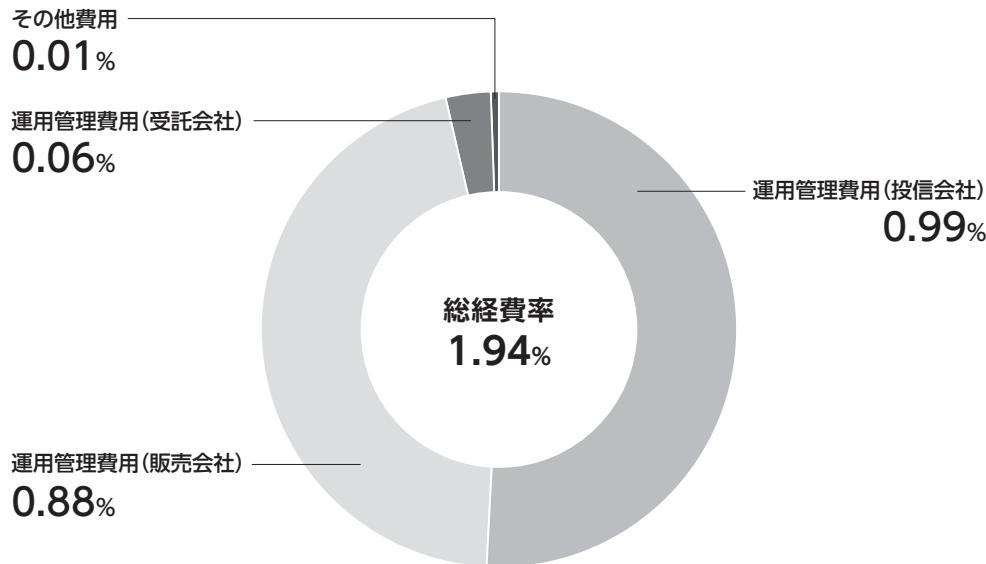
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額
のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.94%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2020年9月25日から2025年9月25日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2020年9月25日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2020.9.25 決算日	2021.9.27 決算日	2022.9.26 決算日	2023.9.25 決算日	2024.9.25 決算日	2025.9.25 決算日
基準価額 (円)	23,400	38,582	29,572	34,094	41,519	51,644
期間分配金合計(税引前) (円)	—	350	0	300	350	500
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	66.4	-23.4	16.3	22.8	25.6
純資産総額 (百万円)	233,587	429,238	331,780	386,590	418,378	482,563

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について(2024年9月26日から2025年9月25日まで)

世界の株式市場は上昇しました。為替市場では、米ドルは円に対して上昇しました。

株式市場

期初は、FOMCによる複数回の利下げやドナルド・トランプ氏が米大統領選で勝利し、議会でも共和党が圧勝したことや、減税や規制緩和期待への高まりが相場を下支えし、世界株式は上昇しました。

期の半ばには、米国で経済指標の軟化から市場センチメント(心理)が悪化したことや、トランプ政権の関税政策が警戒され、実際に4月2日に予想を上回る大幅な関税が発表されたことなどから、世界株式は下落しました。

期末に向けては、米国がEUや日本を含む複数の国・地域と貿易協定に合意したことや、9月に開催されたFOMCでFRBが政策金利の誘導目標レンジを4.25–4.50%から0.25%引き下げ、4.00–4.25%としたことなどから、世界株式は上昇しました。

為替市場

期末の米ドル・円は、期初と比較して米ドル高・円安となりました。

期初には、パウエルFRB議長によるタカ派(インフレ抑制を重視する立場)的な発言や、石破首相が日銀の追加の利上げに否定的な発言をしたこと等を受けて、日米金利差拡大が意識され、対米ドルで円安が進みました。

期の半ばには、日銀が1月の金融政策決定会合で利上げを決定したことや、米国で経済指標が一部軟調となり金利が低下し、日米金利差が縮小したこと等から、対米ドルで円高が進みました。

期末に向けては、パウエルFRB議長が利下げに慎重な姿勢を示し、米トランプ大統領が議長の解任を示唆したことなどから米ドル売り・円買いが見られました。しかし、米中間の関税引き下げ合意に加えて、日本の参院選における与党の過半数割れ懸念が米ドル高・円安圧力となり、概ね横ばいの推移となりました。

ポートフォリオについて(2024年9月26日から2025年9月25日まで)

当ファンド

「グローバルA I エクイティ・マザーファンド」の組み入れを高位に保ちました。

なお、実質組入外貨建資産については対円での為替ヘッジを行いませんでした。

グローバルA I エクイティ・マザーファンド

1月より、決済サービス大手のペイパル・ホールディングスを全売却しました。同社は、サービスの強化やセキュリティの向上のため、A I を幅広く活用している点を評価しているものの、株価が短期的な目標株価に到達したことから全売却を行いました。

5月には、半導体のエッティング、成膜、ウェーハ洗浄プロセスに特化した各種装置を提供するラムリサーチの組み入れを開始しました。同社は、加速するA I インフラ投資の恩恵を受けると考えていることに加え、自社製品の開発や提供する製品にA I を実装している点を評価し、新規購入しました。

8月より、あらゆる分野の治療薬を開発するバイオ医薬品メーカーのアッヴィの組み入れを開始しました。同社は、新薬の開発期間短縮等にA I を積極的に活用しており、その点を評価しています。また、同社は魅力的な製品群を有しており、新薬の開発状況も順調と考え、新規購入しました。

ベンチマークとの差異について(2024年9月26日から2025年9月25日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2024年9月26日から2025年9月25日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第9期
当期分配金	500
(対基準価額比率)	(0.96%)
当期の収益	500
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	41,643

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

2 今後の運用方針

当ファンド

「グローバルA I エクイティ・マザーファンド」の組み入れを高位に保ちます。

なお、実質組入外貨建資産については対円での為替ヘッジを行いません。

グローバルA I エクイティ・マザーファンド

当戦略では、A I がもたらすイノベーションと変革を推進する企業への投資にフォーカスしています。世界中でより強力なA I データセンターが構築され、今後数年間はA I インフラへの支出は堅調に推移するとみています。そのため、A I インフラストラクチャー分野の企業は長期的な需要の増加から恩恵を享受すると考えています。

また、生成A I アプリケーションは、A I エージェントの登場によって次の段階に進化しており、A I 開発分野に新しい波が到来しています。さらに、A I 活用分野の企業はより高い競争力とイノベーションを実現するため、独自の情報を用いて固有の産業特化型A I をトレーニングする等、生成A I 投資を増やしています。今後は、革新的な企業がA I を導入して効率性向上、コスト削減、新製品の投入、市場シェア獲得、収益力改善を進めると考えています。

A I によって技術革新のペースが加速度的に進歩し続けており、私たちはA I の進歩と開発によってもたらされる大規模な破壊的変化のごく初期段階にいると考えています。この技術革新サイクルにおいて、長期的な株主価値を高めることができる企業を見極めてい

くことに注力していきます。

3 お知らせ

約款変更について

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。
(適用日：2025年4月1日)

交付運用報告書の電磁的方法による提供(電子交付)の推進について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われました。受益者の皆さまへの交付運用報告書の提供に関する規定について、従来は書面交付を原則としていましたが、書面交付または電磁的方法(電子メールへのファイルの添付、販売会社等のホームページにアクセスして閲覧等)による提供のいずれかに変更されました。

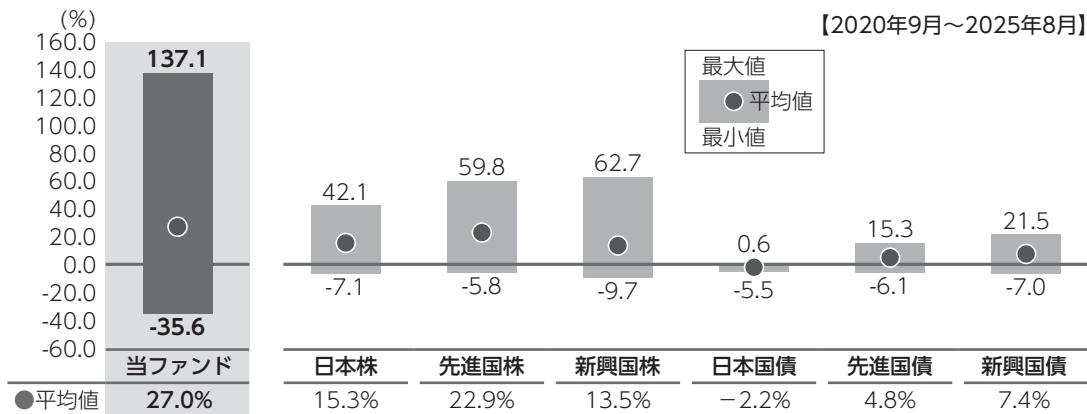
交付運用報告書を電磁的方法で提供することにより、書面の印刷および配送にかかる期間が短縮され、受益者の皆さまが、より早期に交付運用報告書をご覧いただくことや、時間や場所を問わずにご覧になることが可能になると考えられます。また、ペーパーレス化が推進されることにより、森林資源の保護や印刷・配送に伴う二酸化炭素の排出量の削減につながることが期待されます。

今後、電磁的方法による提供を実施することに関し、受益者の皆さまに事前告知等が行われますが、希望される場合には引き続き書面交付をすることも可能です。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法による交付運用報告書の提供を進めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

④ 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式
信 託 期 間	無期限(設定日：2016年9月9日)
運 用 方 針	マザーファンドへの投資を通じて、実質的に世界の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。	
主 要 投 資 対 象 グローバルA I エクイティ・マザーファンド 世界の上場株式	
当 フ ァ ン ド の 運 用 方 法 <ul style="list-style-type: none"> ■世界の上場株式の中から、A I (人工知能)の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行います。 ■マザーファンドの運用にあたっては、ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーに運用の指図に関する権限の一部を委託します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 	
当ファンド <ul style="list-style-type: none"> ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 	
組 入 制 限 グローバルA I エクイティ・マザーファンド <ul style="list-style-type: none"> ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 	
分 配 方 針 <ul style="list-style-type: none"> ■年1回(原則として毎年9月25日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>	

⑤ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(東証株価指数、配当込み)
	株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指標で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース)
	MSCI Inc.が開発した指標で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)
	MSCI Inc.が開発した指標で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債)
	野村フィデューシャリーリサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指標で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
	FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指標で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)
	J.P. Morganが算出、公表する指標で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指標は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指標に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指標の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

⑥当ファンドのデータ

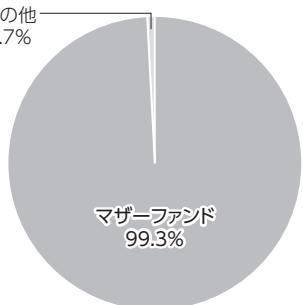
当ファンドの組入資産の内容(2025年9月25日)

組入れファンド等

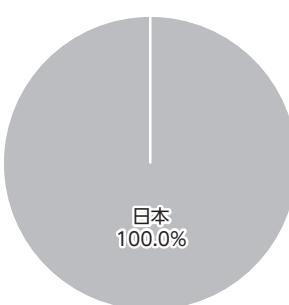
銘柄名	組入比率
グローバルAIエクイティ・マザーファンド	99.3%
コールローン等、その他	0.7%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第9期末 2025年9月25日	
純資産総額	(円)	482,563,643,314
受益権総口数	(口)	93,440,954,192
1万口当たり基準価額	(円)	51,644

※当期における、追加設定元本額は13,323,889,012円、解約元本額は20,650,997,640円です。

組入上位ファンドの概要

グローバルA I エクイティ・マザーファンド(2024年9月26日から2025年9月25日まで)

基準価額の推移

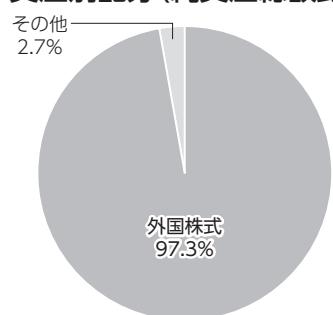


1万口当たりの費用明細

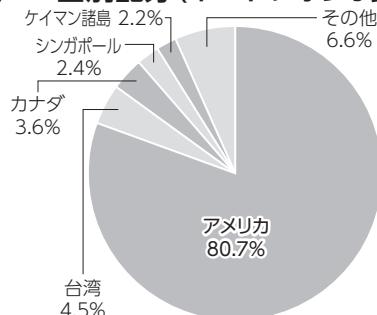
項目	(内訳)	金額 (内訳)
売買委託手数料	(株式)	33 (33)
有価証券取引税	(株式)	4 (4)
その他の費用	(保管費用)	7 (6)
	(その他)	(1)
合計		44

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

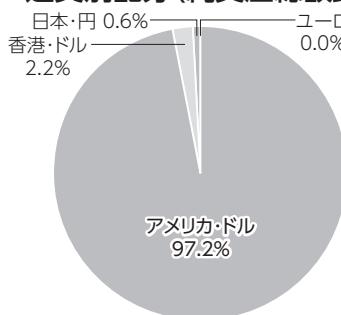
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2025年9月25日現在です。

組入上位銘柄

(基準日：2025年9月25日)

銘柄名	業種	組入比率
1 BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	7.8%
2 NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	7.4%
3 MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	5.5%
4 TAIWAN SEMICONDUCTOR SP ADR	半導体・半導体製造装置	4.4%
5 CELESTICA INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.5%
6 ORACLE CORP	ソフトウェア・サービス	3.4%
7 TESLA INC	自動車・自動車部品	3.3%
8 CATERPILLAR INC	資本財	3.2%
9 META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	3.2%
10 JPMORGAN CHASE & CO	銀行	3.1%
全銘柄数		53銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。